



# 燃やせるごみ



ごみを燃やして出た灰は、最終処分場へ運ばれ、埋め立てられます。1年間の焼却灰の埋立量は、約2,800トン。



ビニールやプラスチックは、燃やすと有害なガスが出ます。特別な装置を使って有害な成分を取り除き、きれいなガスを排出。



焼却炉に投入したごみを勢よく燃やします。焼却炉内の温度は約900度。高い温度で燃やすことで、ごみのおいをなくします。



集められたごみはいったんごみピットへ。巨大クレーンを使って焼却炉へ。

特集 捨てる暮らしから、活かす暮らしへ!

## 意外と知らない ごみの行方

家庭系  
可燃物搬入量  
**15,801**トン  
(平成28年度)

午前8時30分から、収集車が市内約12,000カ所の集積所を回収してまいります。



START

私たちの暮らしと切っても切れない「ごみ」。忙しい生活の中で忘れがちですが、ごみを減らしていくことは、一人一人が取り組むべき課題です。毎日何気なく集積所に出していますが、意外と知らないごみの行方を追うと、わかることがあります。「捨てる」暮らしから、「活かす」暮らしへ。今の暮らしを見つめ直してみませんか。



資源物・不燃物は、各町内の集積所に集められます(富の原2丁目町内会の活動のようす)。



家庭系  
資源物搬入量  
**1,556**トン  
(平成28年度)

家庭系  
不燃物搬入量  
**1,582**トン  
(平成28年度)

新聞や段ボール、衣類、ペットボトルなども細かく分別。分別のルールを守ることも、ごみの減量につながります。



空き缶は磁石の力で、スチール缶とアルミ缶に分けられます。アルミや鉄は小さく圧縮され、リサイクル工場へ。



空き缶などの資源物は手で選別。スプレー缶など危険なものが混じってないか、機械ではできない安全確認を行います。



粗大ごみは細かく刻まれ、大きなふるいや磁石の力などを使って、金属などに選別します。



# 燃やせないごみ・資源ごみ

# 最終処分場がいっぱいに



→燃やした後の灰は、最終処分場に埋め立てられます。現処分場は、平成29年度中にいっぱいになります。

←地元のご理解のもと、新しい最終処分場が完成。埋立地に降った雨は、処理施設で浄水し、きれいな水にして流します。



## interview

釜川内埋立処分場地元協議会代表  
山口 正武さん

一日でも長く  
有効活用してほしい



候補地選定には、苦勞したと聞いています。私たちも市民であるし、自分たちも出すごみだから協力しようと、地元住民の理解を得ることができました。雨水などの処理施設も整っていたので安心です。最終処分場はその名のとおりに「最終」です。先祖代々守ってきた土地が、処分場となって活用されていることを多くの人に知ってもらい、そのことを思い出して少しでもごみの減量や分別に協力していただければ、一日でも長く有効に活用され、地元住民も納得できるような施設になることを願っています。

## 4/11 新しい最終処分場が完成

一般廃棄物最終処分場の竣工式を、陰平町の現地で開催しました。埋立容量は48,100㎡で、約15年間の埋め立てを予定。出席者らは、テープカットで完成を祝い、施設内を見学しました。



生活をしているだけで出てしまうごみ。毎日出し続けているごみの行方を、一人一人が意識することが大切です。「燃やしてしまったらごみはなくならないわけではありません。新しい最終処分場も、いつかはいっぱいになります。施設周辺の地域の皆さんのご理解やご協力によって成り立っていることを忘れてはいけません。ごみの減量は、皆さんの心がけや工夫ですぐに実践できます。捨てる「暮らしから」、活かす「暮らしへ」。限りある資源を大切に、環境のために、そして未来のために、ごみの減量に取り組みしましょう。

## Refuse リフューズ 家に持ち込まない

レジ袋削減のため、マイバック持参運動に参加し、商品を包む袋や包装紙はできるだけ簡易なものに。ごみにならないよう、断ることも大切です。

- ◆余計なものを買わない、使わない、もらわない。
- ◆マイバック、マイはしでごみを発生させない。
- ◆過剰包装や不要な包装は断る。



## Reduce リデュース ごみを出さない

必要ないものは買わず、壊れにくく長持ちする商品を選びましょう。

- ◆使い捨てのものは買わずに、詰め替えできるものを選ぶ。
- ◆きちんと使う計画を立ててから、必要な量だけ買う。
- ◆長持ちする物を選んで買う。



# 4Rを実践してごみ減量

## Reuse リユース 繰り返し使う

お風呂の水の再利用、お米のとぎ汁は捨てずに植木鉢にかけるなど工夫しましょう。壊れたり故障してもまだ使えるものは、フリーマーケットなどに出して再使用してもらいましょう。

- ◆いらなくなった服はフリーマーケットに出す。
- ◆不用になった物は、他の人に使ってもらおう。



## Recycle リサイクル 資源として再生利用する

使用済みの製品、材料などを原材料として形を変えて再生し、新しい製品、材料として使用することをいいます。

- ◆役に立たなくなった物は、資源としてリサイクルする。
- ◆エコマーク、グリーンマークのある物など、再生原料を使っている環境にやさしい製品を使う

